

時期	4年B巡	単元	実習	教科名	評価実習 I	
科目	評価実習	教科書等 持参品	手持ち工具		発行日	2023年4月1日
総時限	30時限				教科担当	高濱
必要時限	30時限					佐藤

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①現場で行われる多様な作業が指示なしでできる。
- ②作業終了後の整備品質と作業時間について、作業効率を考えることを理解する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①インターンシップを通して学んだ、現場で必要となる作業を確実に実施できるようになる。
- ②どのように作業を行なうのが適切かを考え、効率よく正確な作業ができるようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 100点にて総合評価する。
70点以上で合格
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験（例）
 - ①フロント・ディスク・ブレーキ・パッド脱着、引きずり点検。
 - ②リヤ・ドラム・ブレーキ分解組立、クリアランス調整。
 - ③補機ベルト脱着、状態点検。

準備学習

事前に作業内容、手順を確認しておく。

時期	4年C巡	単元	実習	教科名	評価実習Ⅱ
科目	評価実習	教科書等 持参品	手持ち工具		発行日
総時限	110時限				2023年4月1日
必要時限	110時限				教科担当
					高濱
					佐藤

指導教員の実務経験

該当

非該当

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ①現場で行われる作業が指示なしでできる。
- ②車両を点検し、不具合箇所の特定から修理までの流れを体験する。
- ③システム商品の施工を通して、技術力による完成度の差異を体験し習熟度の向上の必要性を理解する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①インターシップを通して学んだ、現場で必要となる作業を確実に実施できるようになる。
- ②どのように作業を行なうのが適切かを考え、効率よく正確な作業ができるようになる。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 100点にて総合評価する。
70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験（例）
 - ①主要部品の点検、脱着。
 - ②システム商品の施工状況。

準備学習

特になし。

時期	4年D巡	単元	実習	教科名	評価実習Ⅲ		
科目	評価実習	教科書等 持参品	雨漏れ点検テキスト	発行日	2023年4月1日		
			手持ち工具				
総時限	70時限		教科担当			高濱	
必要時限	70時限					佐藤	

指導教員の実務経験**該当****非該当**

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。

教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

日産 T S 2 級の技術能力要件を柱に、販売会社で求められる技術を身につけさせる。

- ①販売会社での一般整備項目の習熟を測る。
- ②高度オプション部品の取り付け作業を習得する。

授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ①雨漏れ点検において、シャワリングテストができる。
- ②サイドウィンドウの脱着、調整ができる。
- ③キーシリンダ取り付けボルトの取外しができる。
- ④ディーラー・オプション部品（リモートエンジンスタータ等）の取り付けができる。
※オプションコネクタの状態や、内装材の脱着方法を自分で調べられる。
※キー登録作業ができる。
- ⑤ウインドウ脱着、オプション取り付けを通して、内装材の取り扱いや、傷をつけない配慮を学ぶ。

学習評価（期末試験での主な試験項目）

- 1) 履修試験での学習評価 実技試験 総合評価する。
70点以上で合格。
- 2) 出題試験項目
 1. 実技試験（例） 作業の出来栄を踏まえて判断する。
 - ①雨漏れを発見できたか。
 - ②ウインドウレギュレータ脱着作業が確実にできたか。
 - ③オプション部品の取り付けは確実にできたか。

準備学習

外部診断機、電子サービスマニュアル、部品検索システム等の操作方法を復習しておく。

